

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表：平成31年3月15日

事業所名 チャレンジサポートすこやか

保護者等数(児童数) 26 回収数 18 割合 69 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	68%	27%	5%	「見ていないのでわからない」という意見があったため、個々の面談を事業所で行い見学していただく。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	94%	6%		「見ていないのでわからない」という意見があったため、個々の面談を事業所で行い見学していただく。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	44%	56%		「見ていないのでわからない」という意見があったため、個々の面談を事業所で行い見学していただく。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	100%			
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	88%	12%		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5%	6%	34%	日々の利用時間の都合上児童館との交流などは難しいが、学休日の外出の際など、障害のない子どもたちとの交流を検討する。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%			
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	100%			
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%			
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	72%	28%		今年度保護者懇談会は実施した。開催曜日含め内容等も検討し、来年度も開催する。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	88%	12%		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%			
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	83%	17%		会報やホームページで発信するほか、結果を書面にて保護者等に配布する。
14 個人情報に十分注意しているか	88%	12%			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	72%	18%		マニュアルは策定しているので、保護者へ再度周知・説明を行う。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	83%	17%		避難訓練は毎月実施しているが、実施する曜日に偏りがないよう(実施していない子どもがいらないよう)配慮する。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	100%			
	18 事業所の支援に満足しているか	100%			

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことで、子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：平成31年3月15日

事業所名 チャレンジサポートすこやか

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	83%	17%			
	2	職員の配置数は適切である	100%				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	17%	50%	33%		トイレの手すりの設置等を検討する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	67%		33%		事務局とも連携し、第三者評価の導入を検討する。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%			職員研修計画を作成し、それに沿って実施している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%			S-M社会生活網力検査、生活スキルチェックリスト等を活用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%			活動プログラムは個々のケース担当が立て、朝会で職員間で共有している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%			朝会の中で立案した活動プログラムが固定化しないようチームで確認している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	83%	17%			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%			その子に合わせて個別活動と集団活動を適宜組み合わせている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%			毎朝実施する朝会で確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	50%	33%	17%	送迎の関係でその日のうちに振り返りができない場合は翌朝行っている。	送迎後でも打ち合わせができる時間を確保できるような業務の見直し。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%			毎日ケース記録をつけ職員間でチェックしている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%			年3回モニタリングを行い計画の見直しを行っている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	100%					
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%			サービス担当者会議には児童発達支援管理責任者が参加している。	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%			学校への送迎時など、情報を共有している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		17%	83%		医療的ケアが必要な子どもの受け入れ実績はない。検討することも必要。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	17%	66%	17%		当事業所は中・高校生を対象とした放課後等デイサービスであるため対象外。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%			サービス担当者会議の中で支援内容等の情報を提供している。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	33%	67%			必要に応じてそれらの機関との連携する。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	33%	67%			日々の利用時間の都合上児童館との交流などは難しいが、学休日の外出の際など、障害のない子どもたちとの交流を検討する。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		100%			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%				帰りの送迎の際など、その日の様子などを伝え情報を共有している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		100%			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	67%		33%	今年度保護者懇談会を実施し、保護者同士の連携を支援するなどした。	来年度も保護者懇談会を実施する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%				
	35	個人情報に十分注意している	100%				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			100%		地域住民を招待するような行事を開催していない。検討することが必要。
非常時等の	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%			マニュアルは策定し職員の必携ファイルに入れたり、保護者に配布するなどしている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%			毎月想定災害を変え実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%			毎年虐待防止研修に職員を派遣している。	

対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	17%	83%		保護者には確認している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%			事例を作成し毎月の会議で共有している。	